



ウシ経腔採卵—体外受精技術で、 生産現場を盛り立てる！

最近需要が高まっている体外受精卵の作出に必要な経腔採卵技術(OPU)について、現場で実践するために必要な知識と手技を習得する

日時

オンライン学習：令和3年3月15日（月）

◆ 17:00- 事前学習として動画視聴(約1時間)

対面研修：令和3年3月19日（金）

◆ 8:30- 受付

◆ 9:00-12:00 講義

◆ 13:00-17:00 演習：経腔採卵技術(OPU)および検卵操作(実習)

対面研修にご参加される場合は、オンライン学習が必須です。
オンライン学習後、事前に講師へのご質問、ご意見等をご提出いただきます。

参加費
無料

場所

国立大学法人 宮崎大学 農学部附属住吉フィールド
(〒889-0121 宮崎県宮崎市大字島之内 10100-1)

講師

今井 敬 先生 (酪農学園大学 教授)

受講
対象者

獣医師・畜産技術者 15名

申込

2月8日（月）までに申込用紙をメールで、
下記申込先までお送りください。

申込先・
お問合せ先

公益社団法人 畜産技術協会 担当：管理部 企画課 渡邊、氏里
TEL:03-3836-2301 e-mail:oubo@jlta.jp

尚、新型コロナウイルス感染症の状況次第では、
動画配信とオンラインによる質疑応答に変更する場合があります。

<防疫に関する注意事項>

- ◎ 受講前（開催日）は偶蹄類動物(牛、豚、山羊、羊、イノシシ、シカ等)と接触せず、来場してください
- ◎ 1ヵ月以内に海外を訪問した人は、事前に申告してください。
- ◎ 研修日前4ヶ月以内に海外で使用した器具・衣服・靴等を実習参加時に持参しないでください。やむを得ず使用しなければならない場合には、事前に洗浄及び消毒その他の処置を講じてください。
- ◎ 開催場所であるフィールドにおける注意事項を遵守ください。

～宮崎大学農学部ではこの他にも様々な研修会を開催予定です～

産業動物分野における学び直し事業

検索



<http://miyazaki-u.ac.jp/agr/top.html>

